

リストボックス・ドラッグ&ドロップ・メニュー・アイコンのコンビネーションで

リストフォーム大改造

デモンストレーション

複合タイプのリスト画面

検索:

ホーム

▶ タグ

▼ フォルダー

▼ 保留


4月

タグ	請求書番号	小計
●	000006	162,300
●	000007	6,400
■	000008	109,800
■	000009	384,700
■	000010	326,000
■	000011	76,800
●	000012	237,400
●	000013	427,100
●	000014	67,200

実装ガイド

技術	バージョン	備考
リストボックス《セル単位の色付け》	14	
プレースホルダー	14	
ドラッグアイコン	14	
オブジェクトの配置と値を記憶	14	
境界線スタイルの変更	14	
絵文字	13/14 [*]	

* …白黒

…カラー

実装ガイド

技術	バージョン	備考
リストボックス《フッター表示》	13	
リストボックス《行数で高さを設定》	13	
リストボックス《ヘッダークリック》	13	
日本語入力オフ	12	
カスタムコンテキストメニュー	11	
リストボックス《縦整列》	2004/11	

リストボックス



セル単位の色付け

リストボックス

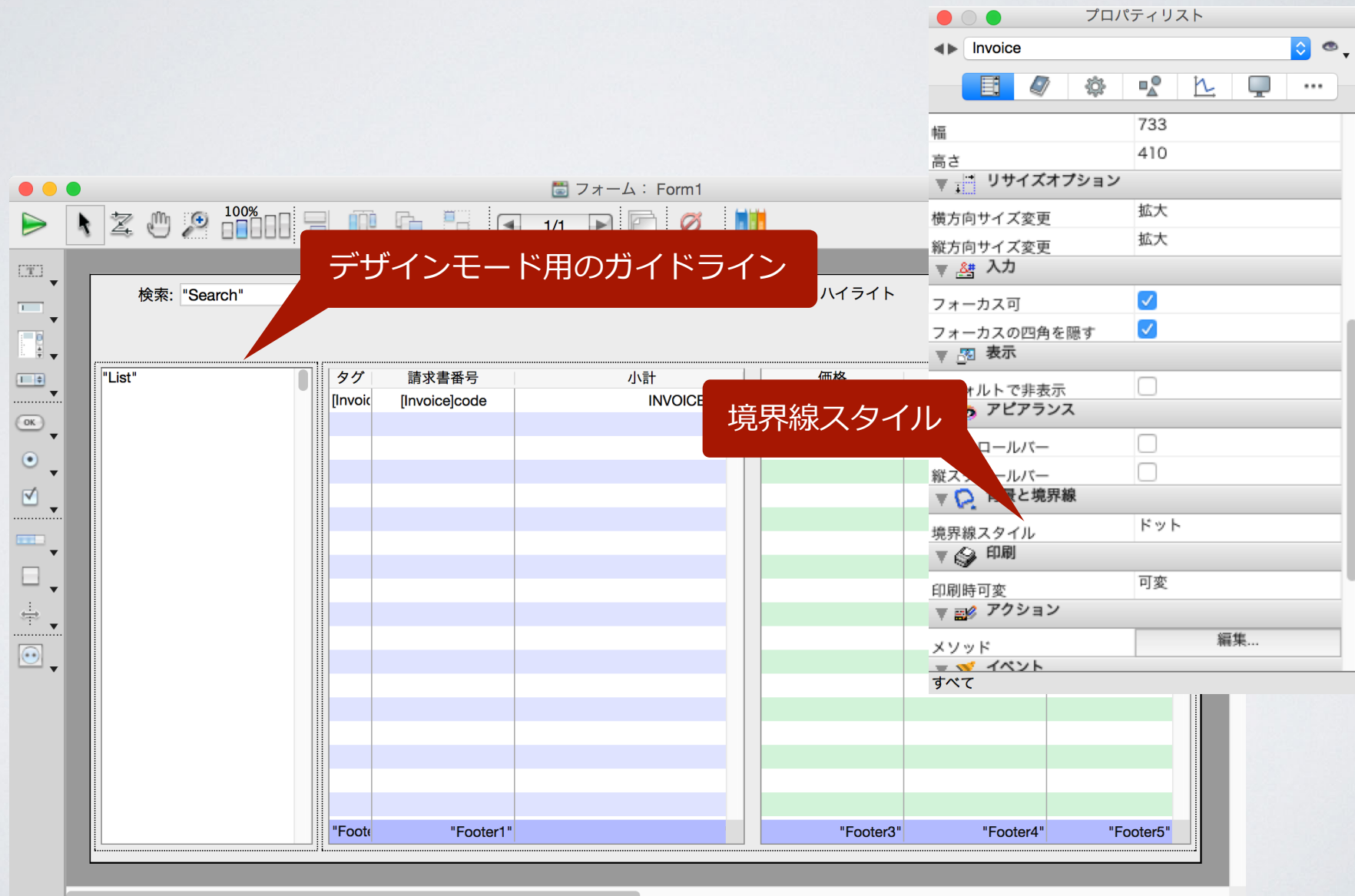
RGBカラー値

```
Case of
: ([InvoiceDetail]count>8)
  $0:=0x00118811
: ([InvoiceDetail]count<2)
  $0:=0x00CC1111
Else
  $0:=-255
End case
```

自動（アクティブ・選択状態に応じて変化）

境界線スタイルの変更

ドット・標準・浮き上がり・くぼみ・二重・システム



境界線スタイルの変更

ドット・標準・浮き上がり・くぼみ・二重・システム

```
$event:=Form event
```

```
Case of
```

```
: ($event=On Load)
```

```
    OBJECT SET BORDER STYLE(*;\n        OBJECT Get name(Object current);Border None)
```

```
End case
```

ランタイムは非表示に

境界線スタイルの変更

ドット・標準・浮き上がり・くぼみ・二重・システム

```
$event:=Form event
```

```
Case of
```

```
: ($event=On Getting Focus)
```

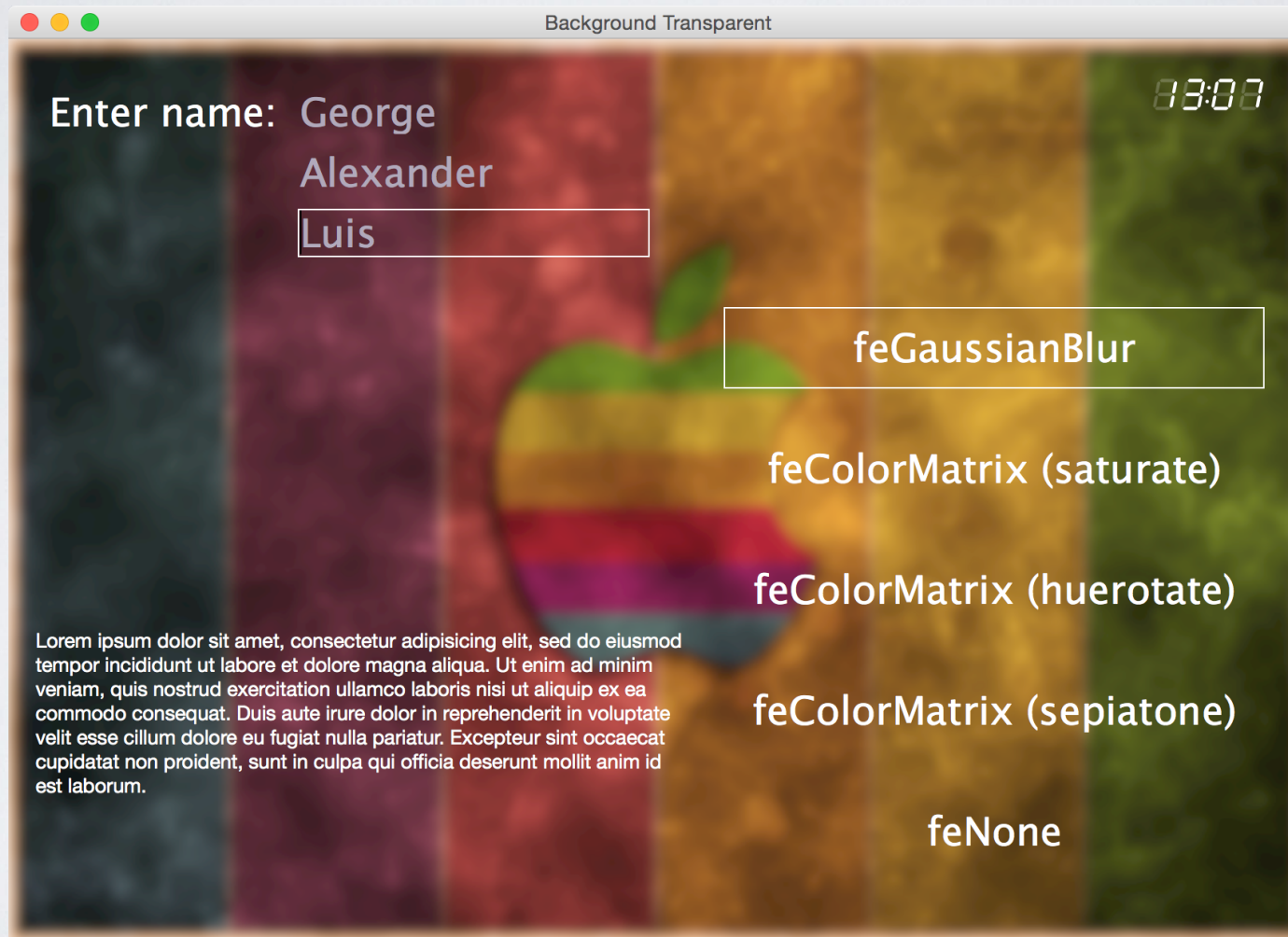
```
    OBJECT SET BORDER STYLE(*;\n        OBJECT Get name(Object current);Border Plain)
```

```
End case
```

フォーカスの代用として

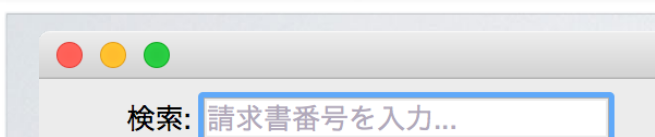
境界線スタイルの変更

ドット・標準・浮き上がり・くぼみ・二重・システム



プレースホルダー

ヒントまたは入力例



検索: 請求書番号を入力...

ホーム
▶ タグ
フォルダー

タグ	請求
	00
	00
	00

[illegible]

プロパティリスト

(Search)

ホルダー ☒

タブ有効 ☒

入力フィルター

プレースホルダー ☒ :xliff:Enter invoice number...

キーボードレイアウト

自動スペルチェック ☐

複数行 自動

コンテキストメニュー ☒

選択を常に表示 ☐

▼ 値の範囲

指定リスト <なし>

除外リスト <なし>

▼ 表示

文字フォーマット

デフォルトで非表示 ☐

▼ アピアランス

プラットフォーム フォームから継承

▼ 背景と境界線

すべて

プレースホルダー

ヒントまたは入力例

```
$thisName:=OBJECT Get name(Object current)
```

```
OBJECT SET PLACEHOLDER(*;$thisName;"請求書番号を入力...")
```

```
OBJECT SET HELP TIP(*;$thisName;"検索条件")
```

```
OBJECT SET FILTER(*;$thisName;"&9")
```

ヒントまたは入力例

ラベル

フィルター: 日本語入力をオフに

オブジェクトの配置と値を記憶

フォームプロパティ：配置を記憶

※配置をリセットするにはチェックボックスを再度クリック

オブジェクトの配置と値を記憶

フォームプロパティ: 配置を記憶

ウィンドウの位置とオブジェクトの配置を記憶

```
SET MENU BAR(1)  
$wId:=Open form window("Form1";*)  
DIALOG("Form1")  
CLOSE WINDOW($wId)
```

オブジェクトの配置と値を記憶

フォームプロパティ: 配置を記憶

Case of

: (*Is_v15_or_later*)

\$folderName:="4D Window Bounds v15"

Else

\$folderName:="4D Window Bounds v14"

End case

\$path:=Get 4D folder(Active 4D Folder)+\
\$structureName+Folder separator+\
\$folderName+Folder separator+\
"[projectForm]" + Folder separator + \$projectFormName + ".json"

If (Test path name(\$path)=Is a document)

DELETE DOCUMENT(\$path)

End if

バージョン別

ログインユーザー毎

JSON形式



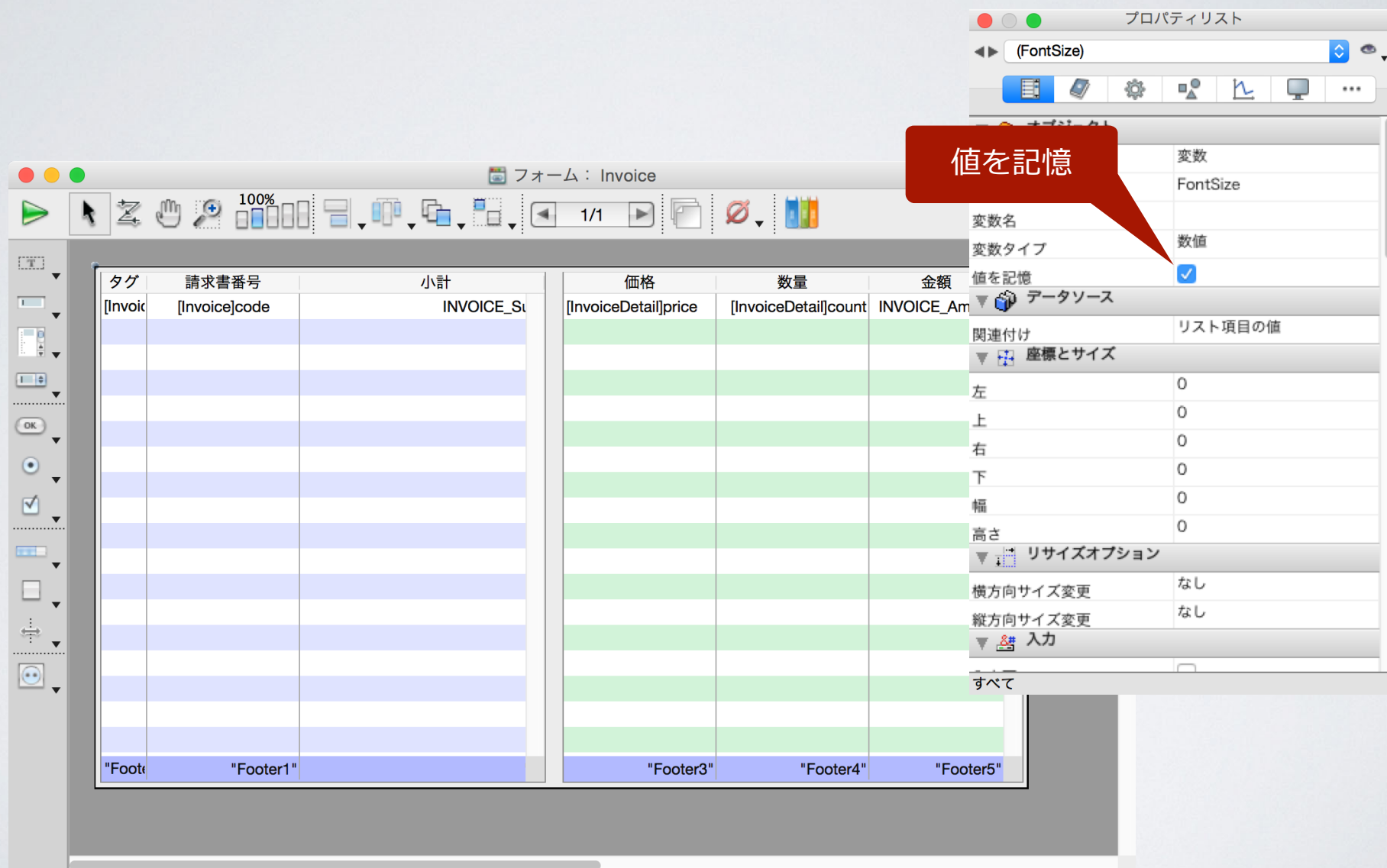
Macintosh HD:Users:miyako:Library:Application Support:4D:



C:¥Users¥miyako¥AppData¥Roaming¥4D

オブジェクトの配置と値を記憶

オブジェクトプロパティ: 値を記憶



オブジェクトの配置と値を記憶

フォームプロパティ: 配置を記憶

対象	記憶される属性
ウィンドウ	位置
	サイズ
フォーム	カレントページ
	サイズ
オブジェクト	位置
	表示 or 非表示

オブジェクトの配置と値を記憶

オブジェクトプロパティ: 値を記憶

対象	値を記憶	備考
ラジオボタン	OK	
チェックボックス	OK	
タブコントロール	OK	カレントページは配置で制御
ポップアップメニュー	OK	
リストボックスヘッダー	OK	並び替えはOn Loadで制御
スプリッター	NG	配置の記憶で制御

オブジェクトの配置と値を記憶

例: 配置以外のユーザー設定を保存するために

```
$event:=Form event
```

```
Case of
```

```
: ($event=On Load)
```

```
    OBJECT SET SHORTCUT(*;OBJECT Get name(Object current);\n    ";;Shift key mask | Command key mask)
```

値を記憶するフォーム変数

```
: ($event=On Clicked)
```

```
    $FontSize:=OBJECT Get pointer(Object named;"FontSize")
```

```
    $FontSize->:=($FontSize->)+1
```

```
    OBJECT SET FONT SIZE(*;"List1";$FontSize->)
```

```
    OBJECT SET FONT SIZE(*;"List2";$FontSize->)
```

```
End case
```